

レッツ工事台帳V.8 仕訳伝票転記 訂正表(応研)

「レッツ工事台帳」をご利用くださいまして、誠にありがとうございます。

リビジョンアップにより「大蔵大臣2008/NX」「建設大臣2008/NX」に連動可能になりました。

これに伴い、下記のように本マニュアル記載事項を訂正・追加致します。

※2014年3月5日時点の全ての本マニュアル追加・変更事項を記載致しております。「◀」が今回変更点です。

ページ	場所	誤	正
全般		「大蔵大臣2004」「大蔵大臣2006」 「大蔵大臣2007」	「大蔵大臣2007」「大蔵大臣NX」
全般		「建設大臣2005」「建設大臣2006」 「建設大臣2007」	「建設大臣2007」「建設大臣NX」
10	業者コード	(記載追加)	「建設大臣NX」の場合、仕入先コード(8桁)を出力します。
10	商品/摘要	桁数の合計が半角48桁……	桁数の合計が半角48桁(「大蔵大臣2007」 「建設大臣2007」)、半角64桁(「大蔵大臣2008/NX」 「建設大臣2008/NX」)を超えるとその分「商品/摘要」の文字数が少なくなります。
11	税区分変換テーブル	(記載追加)	リビジョンアップにより「非売仕」「共売仕」を追加しました。 「非売仕」非課税売上分課税仕入 「共売仕」共通売上分課税仕入 ※平成23年度税制改正(95%ルールの見直し)に伴い、税区分を分ける場合に使用 ※この税区分はレッツ工事台帳の中では「課税」と同じに扱います ※設定方法は、本誌P2をご参照下さい
		(記載追加)	リビジョンアップにより、消費税率毎に税区分変換テーブルが設定できるようになりました。各画面には予め税区分が設定済です。設定済の税区分は変更可能です。
18	完成振替仕訳とは	レッツ工事台帳は、工事進行基準・部分完成基準での完成振替には対応しておりません。	工事進行基準・部分完成基準に対応しました。(Ver8.4R01以降) ※完成振替対象工事選択画面にて、未成工事も選択可能になりました。
23	借方消費税区分 貸方消費税区分	桁:2	桁:3 ※「大蔵大臣NX」の場合

「大蔵大臣2008/NX」 データ出力内容

「大蔵大臣2007」のデータ出力内容と同一です。本マニュアルP21～をご参照下さい。

なお、上記「商品/摘要」に記載されております内容に注意が必要です。

「建設大臣2008/NX」 データ出力内容

下記変更点以外は「建設大臣2007」と同一ですので、本マニュアルP29～をご参照下さい。

なお、上記「商品/摘要」に記載されております内容に注意が必要です。

変更点

項目名	2007	2008/NX
業者コード_桁数	4	8

●完成振替●

【概要】

H21年4月より工事進行基準が義務化されることに伴い、部分完成基準・工事進行基準においても、完成振替処理が可能になりました。

【操作】

- ①メインメニューから「仕訳伝票転記」→「完成振替」を選びます。
- ②捗区分[未成]を選択後、検索ボタンをクリックして下さい。
- ③未成工事が表示されるので、振替対象の工事を選択します。

【参考】

[全て解除]ボタンで[選]のチェックを一括で外すことが可能です。もう1度ボタンをクリックすると表示されている工事全ての[選]にチェックが入ります。

- ④[実行]ボタンをクリックして完成振替処理を完了させます。

【注意】

1. 完成日(進捗日)が必須入力項目になります。空欄の場合、完成振替できません。
2. 未成工事を完成振替した場合、完成振替済のチェックはONになりません。
3. 出力結果に変更はありません。



●税区分変換テーブル●

【概要】

設定画面の税区分変換テーブルに「非売仕」「共売仕」を追加しました。

【注意】

設定内容は会計ソフトによって異なります。

【操作】

- ①メインメニューから「仕訳伝票転記」→「財務会計へ転記」→「設定」をクリックします。
- ②設定画面が表示されますので、「税区分変換テーブル」をクリックします。
- ③「非売仕」「共売仕」に初期値が設定されています。会計ソフト側の内容を確認して、必要な場合は修正します。



●消費税法改正に伴う変更点●

【概要】

消費税法改正に伴い、下記の内容を変更しました。

■税区分変換テーブル

設定画面の税区分変換テーブルが消費税率毎に設定できるようになりました。

消費税率の変更が適用された際に、設定の確認をお願いします。

【注意】

平成25年10月28日現在、新消費税対応バージョンが未発売の会計ソフトの場合は、税区分は空欄となっております。

